

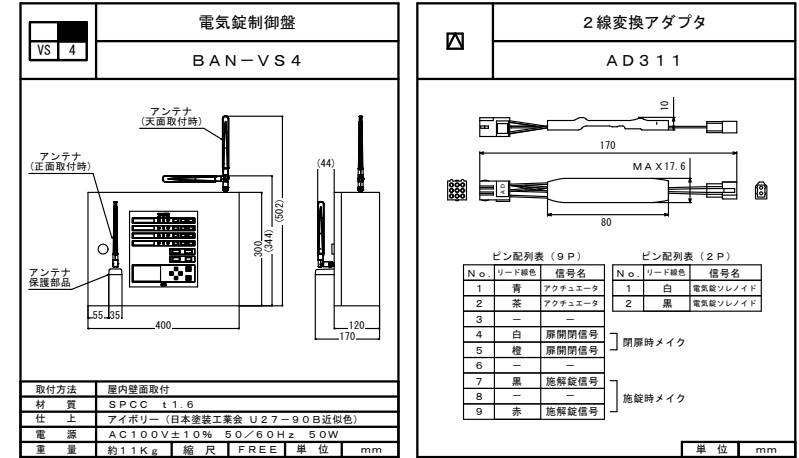
1. システム概要

本電気錠システムは、電気錠扉4箇所を対象とします。
 ・電気錠4箇所と連動し、インターロック制御します。
 ※他社との連動に関しては、別途打ち合わせが必要です。

- (1) 電気錠制御盤(BAN-VS4)を1台設置し、接続される電気錠扉を集中して制御・監視・操作します。電気錠制御盤(BAN-VS4)は、
 - 1) 各扉の状態(扉の開閉、施錠、警報)を操作盤面上に表示します。
 - 2) 盤面操作により、各扉(電気錠)を個別に解錠/施錠/一回解錠できます。但し、インターロック制御中に、盤面上で操作するとインターロック制御が出来なくなります。
 - 3) 盤面操作により、制御している扉(電気錠)を一斉に解錠/施錠できます。
 - 4) 火報警からの火災発報信号により、制御している扉(電気錠)を一斉に解錠します。復旧は、火報入力切れた後、操作盤面上の各回線の施錠ボタンを押すことで行います。
 - 5) インターロックにより、2枚以上の扉(電気錠)が同時に開くことがないよう扉(電気錠)を制御します。

※LTEによる無線通信機能を内蔵しており、自動でソフトウェアのアップデートが可能です。
 LTEによる無線通信ができない場所に設置する場合は、弊社ホームページよりアップデートファイルをダウンロードし、アップデートしてください。

3. 外観図



2. システム系統図

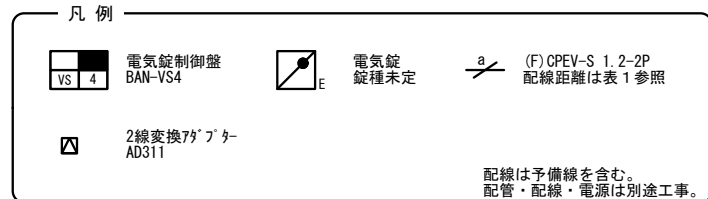
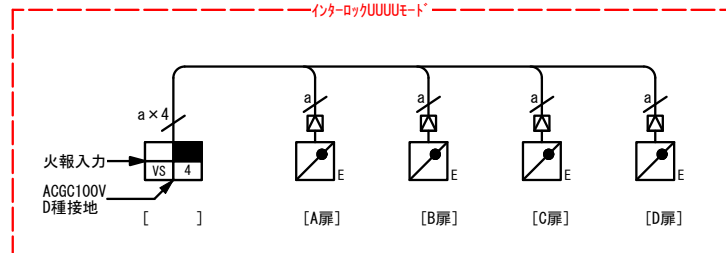
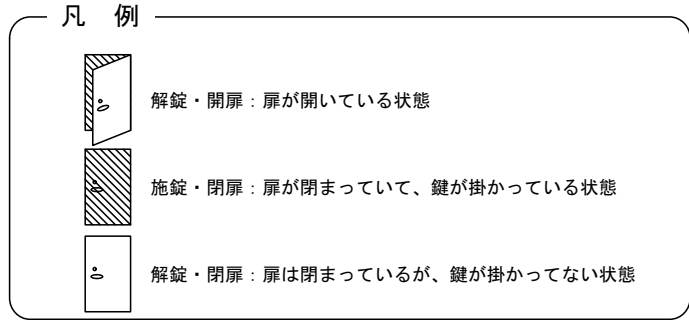
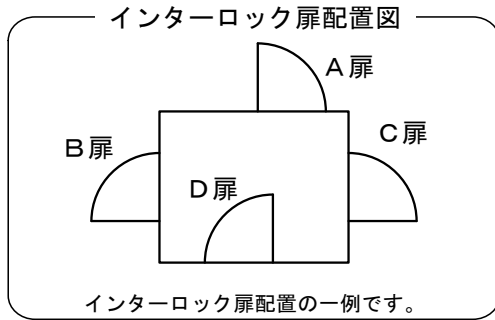
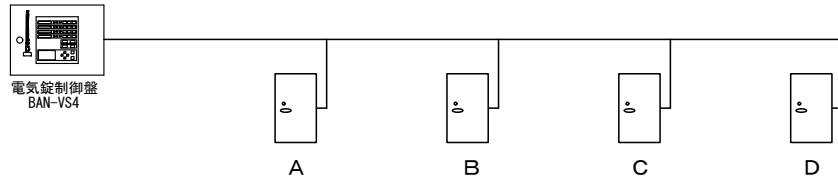


表1
配線距離
適用：BAN-VS4, BAN-VS8, BAN-VS12B, BAN-VS16B,
BAN-VS20B, BAN-VS24B, BAN-VS28B, BAN-VS32B

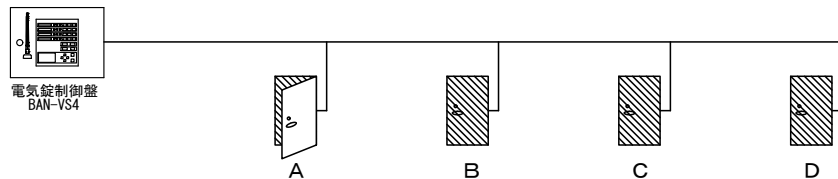
| 電気錠タイプ 線径 | 電気錠～制御盤間 (m) | | | | |
|--|--------------|--------------------|----------------------|---|-----|
| | ASE | AL4M ALN AFG | ALA, ANS ALG, AUS | AUT (A), ALGT, APBT, APPT (A) AUR (A), ALGR, APBR, APPR (A) EM2L600, EL-101 AST, ASR, AD219 (オート7) | ASZ |
| DENコト'90 (断面積 0.3 mm ²) | 10 | 20 | 60 | 40 | 80 |
| 0.65 mm | 20 | 25 | 60 | 60 | 80 |
| 0.9 mm | 40 | 40 | 60 | 120 | 80 |
| 1.2 mm | 60 | 60 | 100 | 180 | 130 |
| 1.6 mm相当 | 100 | 100 | 160 | 300 | 230 |
| 2.0 mm相当 | 160 | 160 | 250 | 480 | 360 |



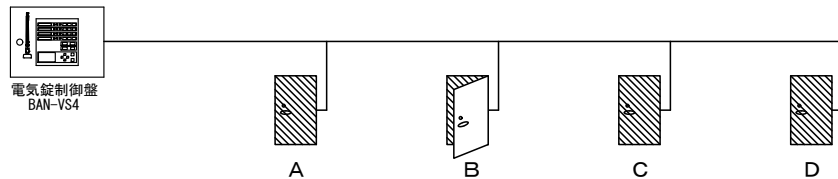
1) 通常、待機時 (A・B・C・D扉、全て閉扉の時)、すべての扉は解錠しています。(初期状態)



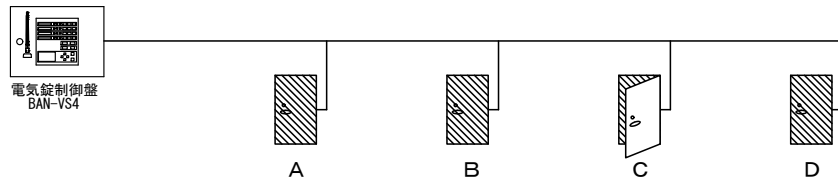
2) A扉を開扉すると、B・C・D扉は施錠します。
A扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



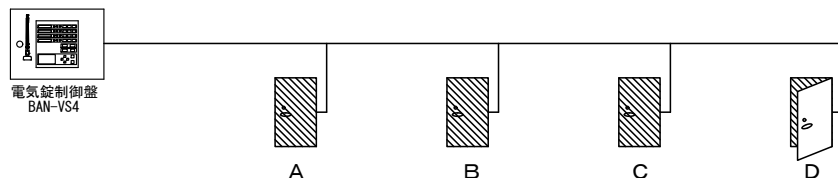
3) B扉を開扉すると、A・C・D扉は施錠します。
B扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



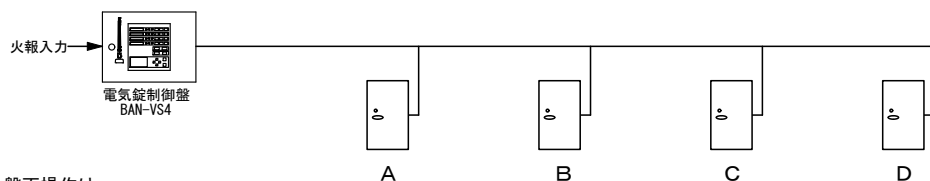
4) C扉を開扉すると、A・B・D扉は施錠します。
C扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



5) D扉を開扉すると、A・B・C扉は施錠します。
D扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



6) 火報信号を入力すると全ての扉は、一斉解錠し、インターロック制御しくなくなります。
火報信号が切れ全ての扉が閉扉し、施解錠操作(キーで施錠もしくは解錠ボタンを押す等)すると
インターロック制御に戻ります。



※電気錠操作盤の盤面操作は
行わないでください。
インターロック制御が崩れます。

※複数の扉を同じタイミングで
開扉させると、
2扉以上開扉する事があります。

※扉のUモード、Lモード設定および作動内容は
電気錠制御盤の設定で変更可能です。
詳細は電気錠制御盤の取扱説明書を参照ください。